

- 20.言ってやるがいい。「わたしは、一途にわが主に祈り、何もかれと同位に配さない。」
- 21.言ってやるがいい。「わたしには、あなたがたを害したり、益したりする力はないのである。」
- 22.言ってやるがいい。「誰もアッラーからわたしを守り切ることは出来ないし、またかれの外に、避難所を見い出すことも出来ない。
- 23.(わたしは)只アッラーからの御告げを、宣べ伝えるに過ぎない。それでアッラーとその使徒に従わない者、かれらには地獄の火があり、永遠にその中に住むであろう。」
- 24.かれらは、約束されたことを見る時になって、助力において誰が最も頼りにならないか、数においても誰が最も頼りにならないかを知るであろう。
- 25.言ってやるがいい。「わたしは、あなたがたに約束されたことが近付いているのか、それともアッラーがもう少し期間を蝕けられたのかを知らない。
- 26.かれ(だけ)が幽玄界を知っておられ、その秘密を誰にも漏されはしない。
- 27.かれの御気に召した使徒以外には。それで、かれは、前からも後ろからも護衛して、(使徒を)赴かせられた。
- 28.それはかれらが、果して主の御告げを伝えたかどうかをかれが知られるためであり、またかれらの持つものを取り囲んで、凡てをそれぞれ計算に数え上げられるためである。

SURA 73.衣を纏う者章〔アル・ムッザンミル〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.衣を頭から纏う者(ムハンマド)よ、
- 2.夜間に(礼拝に)立て、少時を除いて。
- 3.夜間の半分、またそれよりも少し縮めて(礼拝に立て)、
- 4.あるいは、それよりも少し多く礼拝に(立て)、そしてゆっくりと慎重な調子で、クルアーンを読め。
- 5.やがてわれは、荘重な御言葉(クルアーン)をあなたに下すであろう。
- 6.本当に夜間(礼拝)に起きることは、最も力強い歩・であり、御言葉を一層明確にする。
- 7.本当にあなたは、昼間は要務で長く追われる。
- 8.それであなたの主の御名を唱念し、精魂を傾けてかれに仕えなさい。
- 9.東と西の主であられ、かれの外に神はないのである。それでかれを、御槌すべき方として仰ぎなさい。
- 10.かれらの言うことを耐え忍び、かれらを離れよ、立派に身をかかわせ。

- 11.現世の富にあずかって嘘付き呼ばわりする者たちをわれに委ねて、暫くの間かれらを猶与しなさい、
- 12.本当にわれの手元には鎖があり、また炎もある。
- 13.(喉に) 病える食物があり、また痛ましい懲罰がある。
- 14.その日、大地と山々は震動し、山々は崩れ流れて、砂の固まりになるであろう。
- 15.本当にわれは、あなたがたの証人とするために、使徒をあなたがたに遣わした。われが且つて、フィルアウンに一人の使徒を送ったように。
- 16.だがフィルアウンはその使徒に従わなかったので、われはかれを厳しく罰して破滅させた。
- 17.もしあなたがたが依然として(アッラーを) 拒否するなら、子供が(恐怖のあまり) 白髪になる日、あなたがたはどうして自分を守れようか。
- 18.その日、天は裂け散るであろう。かれの約束は、必ず完遂されるのである。
- 19.本当にこれは訓戒である。それで望む者に、主への道を取らせなさい。
- 20.主は、あなたが夜間の殆ど3分の2、また(ある時は) 2分の1、または3分の1を、(礼拝に) 立つことを知っておられる。またあなたと一諸にいる一団の者も同様である。アッラーは、夜と昼を妥当に計られる。かれはあなたがたがそれを計れないことを知り、あなたがたを慈しまれる。だからあなたがたは、クルアーンを無理にならない程度に読め。かれは、あなたがたの中病める者のあることを知っておられる。また或る者はアッラーの恩恵を求めて、地上を旅し、或る者はアッラーの道のために戦っている(ことを)。だからそれを無理にならない程度に読め。礼拝の務めを守り、定め喜捨をなし、アッラーに立派な選付け(信仰のための散財)をしなさい。あなたがたが、自分の魂のために予め行う、どんな善いことも、アッラーの御許でそれを見い出そう。その(善行の) 報奨は、最善にして最大である。あなたがたはアッラーの御救しを請い求めるがいい。本当にアッラーは寛容にして慈悲深くあられる。

SURA 74.包る者章〔アル・ムッダッスイル〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.(大衣に) 包る者よ、
- 2.立ち上って警告しなさい。
- 3.あなたの主を讃えなさい。
- 4.またあなたの衣を清潔に保ちなさい。
- 5.不浄を避けなさい。
- 6.見返りを期待して施してはならない。
- 7.あなたの主の(道の) ために、耐え忍びなさい。